

「わたしたちの体育」を利用した学習事例（第3学年）

綾川町立羽床小学校 植田 雄史

第3学年	単元名	とび箱運動
指導時間	7時間	児童書掲載ページP60～P65

【単元の目標】

- ・ 跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。自己の能力に適した課題を見付け、活動を工夫し、考えたことを友だちに伝えることができる。規則を守りだれとでもなかよく運動したり、友だちの考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

【安全にみんなが運動できるように・・・はじめに約束しよう、確認しよう】

- ・ 跳び箱やマットなどの学習用具の使い方や設置の仕方を確認する。
- ・ 自分の担当する用具が壊れていないか、練習する場所の安全が保たれているかなどを確認する。
- ・ 用具の準備や片づけは複数で行うように指導する。
- ・ 順番を守って活動するように指導する。（前の人がマットから下りて合図をしたら次の人がスタートするなどのルールを確認する。）
- ・ 跳んだ後はマットのずれを直す、周囲の安全を確認してから跳ぶ、安全な服装や髪型に気を付けることを指導する。
- ・ 基本的な技が安定してできるようになってから発展的な技に挑戦できるように学習を進める。

【学習活動 第1時～第7時】

第1時

①学習の目標と進め方を知る。

1 学習の目標とどのように学習を進めるのかを説明する。

学習の目標	○基本のわざや発てんわざの行い方を知り、わざができるようにしよう。
	○自分のか題を見つけ、わざができるようにくふうし、自分で考えたことをつたえよう。
	○グループで友だちの考えをみとめ、進んで運動しよう。

②器械・器具等の使い方について知る。

2 使用する器械・器具の種類や数、配置を確認する。

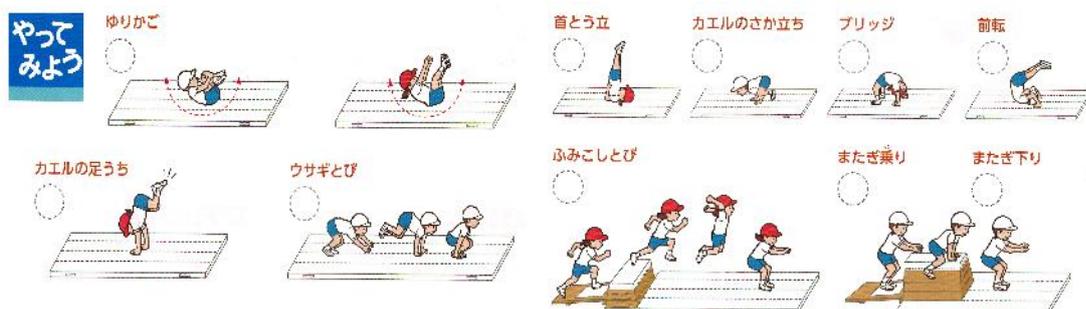
③きまり, 学習の場, 安全面について知る。

3 児童書P54の「きまり」を確認する。準備や片付けについて確認する。安全管理を徹底する。



④「やってみよう」を行う。

4 基礎的な感覚を養う運動に取り組む。
助走 踏み切り 着手 着地



⑤学習のまとめの仕方を知る。

第2～4時

①準備運動を行う。

②めあてを確認する。

③「やってみよう」を行う。

④活動1を行う。

⑤気を付けるポイントやできるようになったことを伝え合う。

⑥共有したポイントを意識してもう一度活動1を行う。

⑦本時のまとめをする。

5 「学習のあしあと」の使い方を説明する。
 ※友だちとの関わりの中でできるようになったことを振り返りで気付かせるようにする。

- ケガ防止のために、首や手首などのストレッチを入念に行う。
- 本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

基本の技ができるようにしよう

- 支持や回転の感覚を確かめながら行う。
- 1時間の中で行う活動を精選し、確実な習得を目指す。

第2時 開脚跳び

第3時 台上前転

第4時 開脚跳び・台上前転 (児童が選択)

両方に取り組む場合は必ず開脚跳びから

台上前転のあとに開脚跳びは行わない

- (6) 友だちのよい動きを全体で共有する。
- 学習活動のまとめをし、次時の意欲喚起につなげる。

第5～7時

①準備運動を行う。

②めあてを確認する。

③「やってみよう」活動1を行う。

④活動2を行う。
(選択)

⑤気を付けるポイントや課題についてペアやグループで伝え合う。

⑥共有したことを意識して再度活動1活動2に取り組む。

⑦本時のまとめをする。

1 ケガ防止のために、首や手首などのストレッチを入念に行う。

2 本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

技のできばえをよくしたり、発展技に取り組んだりしよう

3 第2時～第4時までのポイントを確認した後に活動に入る。

例) 踏み切りの仕方(ドンッと踏み切る)
手はパッ など

オノマトペを使って
イメージさせる

4 危険を伴うため、児童の実態に合わせて実施の可否を判断する。
実施が困難な場合は、技の紹介に留め、次年度以降の課題とする。

かかえこみとび
 1. 片足で高く踏み切る。 2. 両足で高く踏み切る。 3. 両足で高く踏み切る。 4. 両足で高く踏み切る。 5. 両足で高く踏み切る。 6. 両足で高く踏み切る。
 練習: こしを高く上げよう。 手より高い位置で踏み切ろう。

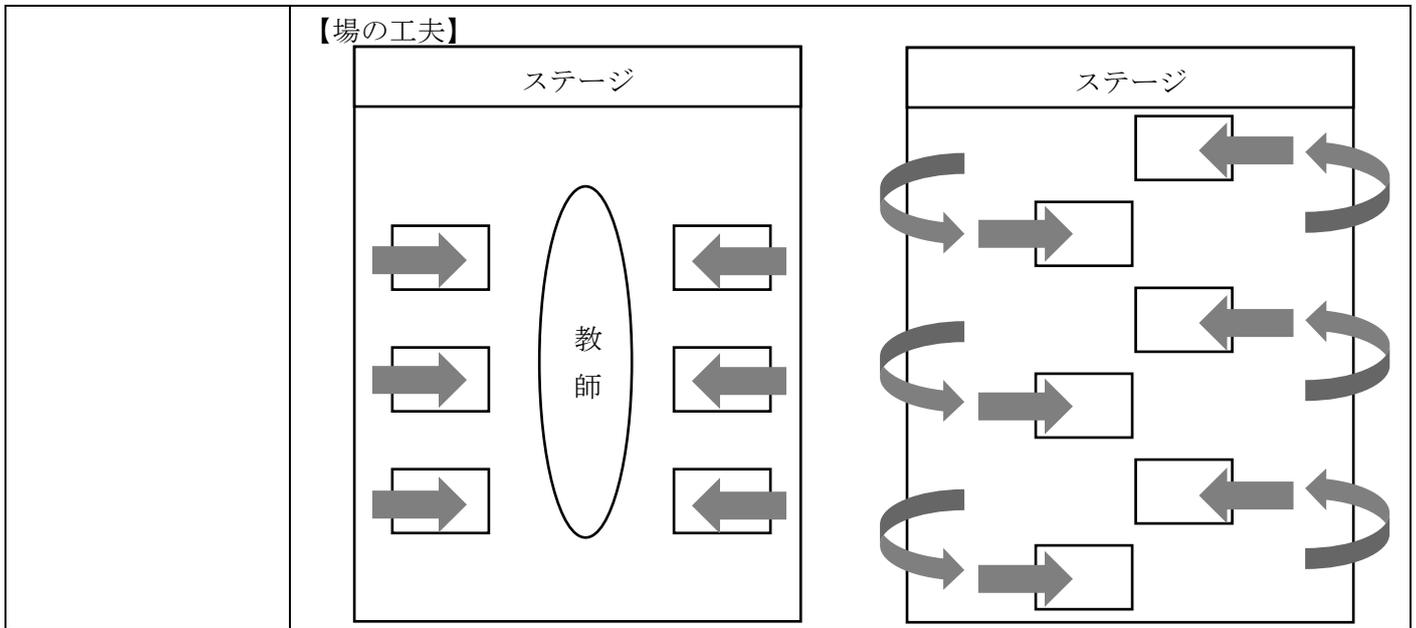
ひざをのばした台上前転
 1. 両足で高く踏み切る。 2. 両足で高く踏み切る。 3. 両足で高く踏み切る。 4. 両足で高く踏み切る。 5. 両足で高く踏み切る。 6. 両足で高く踏み切る。
 練習: ひざがのびているか確認しよう。

首はねとび
 1. 片足で高く踏み切る。 2. 両足で高く踏み切る。 3. 両足で高く踏み切る。 4. 両足で高く踏み切る。 5. 両足で高く踏み切る。 6. 両足で高く踏み切る。
 練習: 両手も大きく振り上げよう。

頭はねとび
 1. 片足で高く踏み切る。 2. 両足で高く踏み切る。 3. 両足で高く踏み切る。 4. 両足で高く踏み切る。 5. 両足で高く踏み切る。 6. 両足で高く踏み切る。
 練習: つま先が高く上がるようにしよう。

5 (6) 友だちのよい動きを全体で共有する。

7 単元の最初と比べてできばえがよくなった技や新しくできるようになった技を振り返り、学習のまとめを行う。



【評価の観点】

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跳び箱運動の行い方を理解している。 ・ 自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技ができる。 ・ 切り返し系や回転系の発展技に取り組むことができる。
思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に適した課題を見付け, 技ができるようになるための活動を工夫している。 ・ 考えたことを友だちに伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跳び箱運動に進んで取り組もうとしている。 ・ きまりを守り, 誰とでも仲よく運動をしようとしている。 ・ 友だちの考えや取組を認めようとしている。 ・ 場や器械・器具の安全に気を付けている。

【学習を通しての児童の反応, 児童の感想】

児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の課題を見付け, 場を選んで練習する児童が多く見られた。 ・ 跳び箱運動が得意な児童は, 発展技にも取り組み, 新しい技を習得できた。 ・ 同じ課題に取り組んでいる児童は, お互いの動きをよく見て改善点などを伝え合う姿が見られた。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手の着き方を友だちが教えてくれたので, 上手く跳ぶことができた。 ・ ○○さんは足を強く振り上げていたのでまねしたい。 ・ グループで今日の課題を一緒に確認して練習するとできるようになった。 ・ グループで今日一番気を付けることを話し合っ, みんなができるようになった。 ・ 首はねとびは台上前転と動きが似ているからチャレンジしてみたいな。 ・ ○○さんに技のできばえがよかったと言ってもらえた。跳び箱運動が好きになった。

【「わたしたちの体育」を活用した学習について】

・ 教師用指導書 106～107 Pの「展開例」を参考に本単元の学習展開を考えるとともに, 61 Pのきまりを単元初めに指導することによって, 安全・安心な学習を展開することができた。また, 61 Pの「やってみよう」を行うことによって, 苦手な児童も基礎的な感覚を身に付け, 意欲的に基本の技に取り組めた。